

2024年4月2日

日本政策投資銀行の環境格付で最高ランクを取得

住友理工株式会社（本社：名古屋市中村区、代表取締役 執行役員社長：清水和志）は、株式会社日本政策投資銀行（本店：東京都千代田区、代表取締役社長：地下誠二、以下 DBJ）による「DBJ 環境格付」で最高ランクの格付を取得し、当該格付に基づく融資を受けました。



「DBJ 環境格付」融資とは、DBJ が開発したスクリーニングシステム（格付システム）により企業の環境経営度を評点化し、優れた企業を選定するという世界で初めての融資メニューです。

今回、当社は次の3点を高く評価され、2024年3月に「環境への配慮に対する取り組みが特に先進的」という格付を取得しました。

- (1) 自動車業界における環境変化を踏まえ、実現したい未来社会像の達成に必要な事業ポートフォリオ転換を見据えた 2029 年のありたい姿を策定し、その実現に向けて3つの方向性と6つのマテリアリティを設定するとともに、特に環境面については 2050 年環境長期ビジョンおよび環境 2029 年ビジョンを策定し数値目標を中期経営計画にも反映するなど、長期的な企業価値向上を見据えたサステナビリティ経営を着実に推進している点
- (2) 経営層をトップとするマネジメント体制のもと、データの分析結果も活用しながら環境負荷低減に向けた意識啓発活動を国内外グループ会社に積極的に展開するとともに、環境 2029 年ビジョンや中期経営計画とも整合する環境負荷の低減に向けた設備投資計画を策定することで、全社横断的に事業を通じた不断の環境負荷低減を図っている点
- (3) サプライヤーの CSR に関する取り組み状況について、環境・人権に留まらない広範な事項を調査し評価しているほか、持続可能な天然ゴムの調達に向け GPSNR¹に加盟し、天然ゴム農園・加工所の定期的な実地調査・モニタリングを通じて、天然ゴムへの依存度軽減に向けたサプライヤーへの主体的な働きかけを実施するなど、持続可能なサプライチェーンの構築に積極的に取り組んでいる点

当社は昨年、経営ビジョン「2029 年 住友理工グループ Vision (2029V)」で描いたありたい姿を実現すべく、中期環境目標「環境 2029V」を策定しました。「脱炭素社会」「資源循環型社会」「自然共生社会」に貢献するとともに、事業の成長・新しい価値の創造に挑戦していきます。

以上

¹ Global Platform for Sustainable Natural Rubber : 持続可能な天然ゴムのためのグローバルプラットフォーム

―― 住友理工について ―――

住友理工は1929年に創業し、名古屋市中村区に本社を置くモノづくり企業です。2014年に東海ゴム工業から社名を変更しました。自動車（モビリティ）分野では、振動を制御する世界トップシェアの防振ゴムのほか、ゴム・樹脂ホースや、ウレタン製の制動音品・内装品を製造。自動車部品の開発で培った技術を生かし、インフラ・住環境、エレクトロニクス、ヘルスケアの各分野でも事業を展開しています。世界20ヶ国以上に広がるグローバルネットワークを活用して、“Global Excellent Manufacturing Company”を目指しています。

リリースに関するお問い合わせ先
住友理工株式会社

広報IR部 / 〒450-6316 名古屋市中村区名駅一丁目1番1号 JPタワー名古屋
tel 052-571-0259 e-mail product.info@jp.sumitomoriko.com <https://www.sumitomoriko.co.jp/>